

事項	高冷地夏秋どり栽培におけるいちご「北の輝」の遮光処理による花芽分化促進効果		
ねらい	いちごは、夏秋期が端境期で販売価格が高く、夏期冷涼な高冷地ではいちごの夏秋どり栽培を有利に行うことができる。そこで、夏秋どり栽培に適した新品種「北の輝」を用いて、花芽分化促進のために遮光処理の効果について検討したところ、短日処理と同等の高い効果が得られたので参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 遮光処理による花芽分化促進の効果 いちご「北の輝」に遮光処理を行い、高冷地に定植するとほぼ100%花芽が分化し、短日処理と同等の花芽分化促進効果が得られる。</p> <p>(1) 露地にポットを並べ、トンネル支柱に70%遮光シルバー寒冷紗で被覆し、定植前30日間処理する。5～6月の処理では、平場及び高冷地のいずれの処理でも処理期間中の平均気温は11～17℃で、花芽分化株率はほぼ100%で短日処理とほぼ同等である。</p> <p>(2) 5月下旬定植では、保温・育苗開始は2月中旬、遮光処理期間は5月初旬から約30日間行う。開花始めは7月中旬で、収穫始めは8月上旬となる。収量は短日処理と同等である。</p> <p>(3) 6月下旬定植では、保温・育苗開始は3月中旬、遮光処理期間は6月初旬から約30日間行う。開花始めは8月中～下旬で、収穫始めは9月上～中旬となる。収量は短日処理とほぼ同等である。</p> <p>2 採苗 ポット受けは前年の秋に行い、9月下旬にランナーを切り離す。ランナー切り離し後の追肥は、ロング40日タイプで12cmポット当たり窒素で0.1g施用し、葉数は3.5枚になるよう古葉から摘葉する。</p> <p>3 越冬後の育苗 花芽分化処理の70日前にハウス等に入れ、ポリ及び保温資材等によるトンネル被覆と加温等を行い、最低気温13～15℃程度の生育適温で育苗する。 追肥は10日毎に12cmポット当たり窒素で0.01g相当を液肥で施用し、花芽分化処理の30日前には終了する。育苗を始めてから処理を終了するまでに出雷、開花してきたものは速やかに摘み取る。</p>		
期待される効果	花芽分化処理が短日処理より省力的に簡易にできるようになり、夏秋どり栽培が導入しやすくなる。		
利用上の注意事項	<p>1 花芽分化処理前の育苗期間中は、低温期にはポリ及び夜間の保温資材等で被覆する。また、高温による生育障害に注意し、気温が高い場合は適宜露地に移して育苗する。</p> <p>2 ポット用土は山土とくん炭、ピートモス等、無病、無肥料のものを用いる。</p> <p>3 遮光処理期間中にいちご苗が蒸れるような高温の場合には、裾換気を行う。</p>		
担当	青森県農業試験場 水田利用部	対象地域	県内高冷地
発表文献等	平成13～14年度 青森県農業試験場試験成績概要集		

【根拠となった主要な試験結果】

表1 花芽分化株率と処理中の平均気温
(平成13~14年 青森農試)

処理時期	処理場所	処理方法	年次	花芽分化株率 (%)	処理期間中平均気温 (°C)
5月	平場	短日	H13	100	15.7
			H14	100	13.2
		遮光	H13	100	14.4
			H14	100	13.1
5/中 ~ 6/中	高冷地	短日	H13	100	12.6
			H14	100	12.0
		遮光	H13	100	12.2
			H14	100	11.4
6月	平場	短日	H13	100	19.1
			H14	100	17.0
		遮光	H13	80	17.8
			H14	100	16.6
	高冷地	短日	H13	100	13.7
			H14	100	13.5
		遮光	H13	100	13.4
			H14	100	12.7

(注)1 育苗:平場(青森農試)
2 定植:高冷地(平賀町)

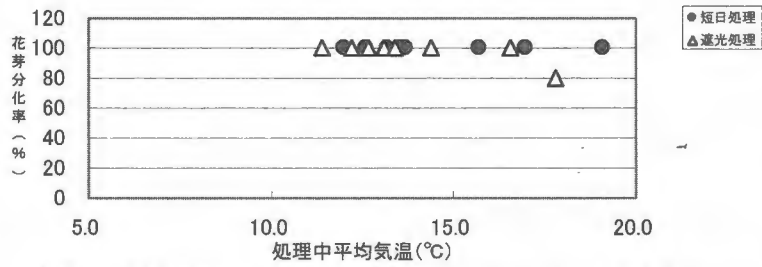


図1 処理中の平均気温と花芽分化率 (平成13~14年 青森農試)

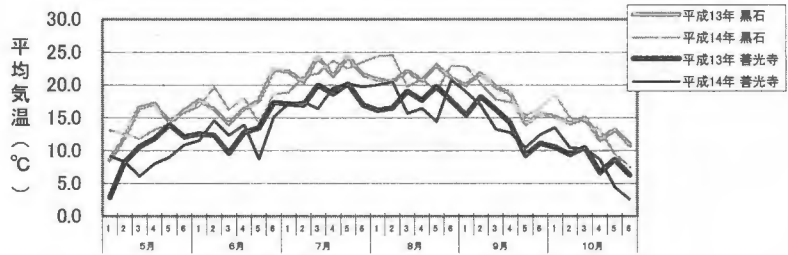


図2 平均気温の推移 (平成13~14年 青森農試)

処理時期	処理場所	処理方法	年次	月	6月					7月					8月					9月				
					日	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	5	10	15	20	25	30	
5月	平場	短日	H13	定植																				
					H14																			
		遮光	H13																					
				H14																				
5/中 ~ 6/中	高冷地	短日	H13																					
				H14																				
		遮光	H13																					
				H14																				
6月	平場	短日	H13																					
				H14																				
		遮光	H13																					
				H14																				
	高冷地	短日	H13																					
				H14																				
		遮光	H13																					
				H14																				

図3 定植時期と開花・収穫始め日 (平成13~14年 青森農試)

(注) ○は開花始め、■は収穫時期 収穫は10月末まで

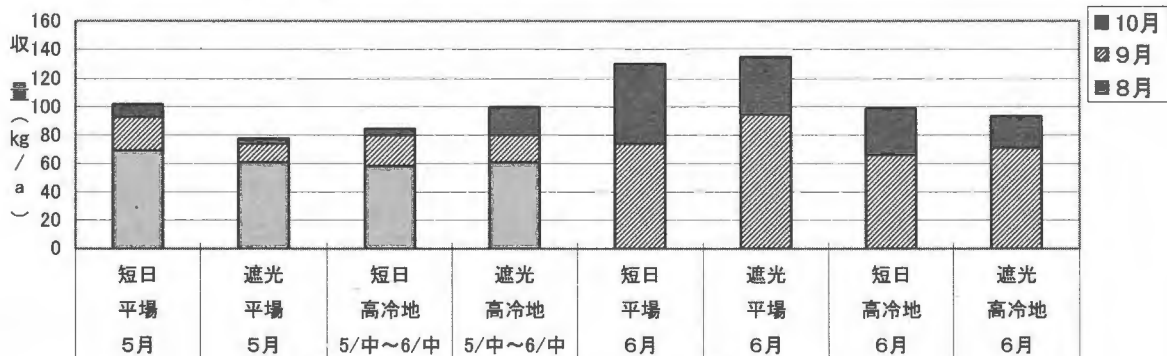


図4 時期別収量 (平成14年 青森農試)

(注) 栽培は雨よけ(低温期にはハウス)状態で行った